

社会福祉学部 <令和4年度入試 社会人選抜> (小論文)

【出題意図】

文章の理解力, 判断力, 論理的思考力, 設問の趣旨に沿って表現する力をみる。

【解 答】

問1 (解答例)

人は1個の主体となることを目指しながら, 同時に社会の一員になるべく社会化され, いずれは社会の一員になり次世代を社会化する。その過程で主体の<私>は<社会の一員>として二重化される。これが生涯過程において<育てられる者>から<育てる者>への移行の1つの意味である。

唯一の<主体としての私>でありながら, <みんなのなかの私>でもある二重性は1人の私の内部で立ち現れる。「みんな一緒」は幸せでもあるが, ときに<主体としての私>に圧力を及ぼし阻害する。あるいは<みんなのなかの私>に吸収され<主体としての私>を失う。二重性によるずれは葛藤を引き起こす。また, <社会の一員>や<みんなのなかの私>になった分だけ人は1人の人間に対して同質圧力をかけ得る。人を社会に巻き込み社会の一員に仕立ててゆくことが多数は善, 少数は悪という力の論理を1人の人間に押しつけるならば, <主体としての私>は圧殺される。このように社会化, 文化化には肯定的な面の他に, 否定的かつ危険な面がつねに孕まれていることが二重性を生きる難しさにつながっている。そこに1個の主体であり社会の一員である人間として生きることの難しい両義性がある。(497字)

(採点基準)

- ・本文の内容を的確に理解し, 「主体としての私」と社会の一員である「みんなの中の私」の二重性, 両義性と, そこから生じる葛藤や生きる上での難しさに言及している。
- ・社会化の否定的な(危険な)面が明記されている。(主体としての私に圧力を及ぼし阻害する, 同質圧力をかけ圧殺するなど)
- ・字数制限が守られている
- ・誤字や脱字のない文章になっている

問2 (解答例)

個別の解答が予想されることから, 解答例は示さない

(採点基準)

- ・本文の内容を的確に理解し, かつ具体的な事例を挙げながら自分の考えを論理的に述べている
- ・人の生涯過程の二重性, 両義性に触れている。
- ・社会化の否定的な面について触れている。
- ・字数制限が守られている
- ・誤字や脱字のない文章になっている